

医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院病理診断科では、臨床研究審査委員会および病院長の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、以下の「問い合わせ窓口」にお問合せください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】小型胆管型肝内胆管癌の術後予後を規定する病理学的、遺伝子学的因子の解析

【研究期間】福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～西暦 2028 年 3 月 31 日

【研究の目的】肝内胆管癌は原発性肝癌の 10～15%を占め、予後不良の疾患であり、近年増加傾向にある。現在、肝内胆管癌は小型胆管型と大型胆管型に分類され、その臨床像、病理像、遺伝異常の解析、また治療法の開発が行われています。小型胆管型では、病理組織像が多彩であることが知られています。最近、私どもの報告を含め、小型胆管型の術後予後に関連するいくつかの病理学的亜型(細胆管型、胆管判形成異常型、通常型、吻合型など)が報告されています。今回、多数の小型型肝内胆管癌を用い、これらの亜型と術後全生存期間、遺伝子異常との関連性を検討し、今後の胆管癌の治療や予後の判定のために用います。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

肝内胆管癌の患者さんで、西暦 2002 年 7 月 1 日から、西暦 2025 年 9 月 30 日の間に、肝内胆管癌の外科的治療を受けた方

2. 研究に用いる試料・情報

試料：福井県済生会病院および静岡がんセンターにおいて、治療目的に外科的に切除された肝臓で、診断目的に採取された肝臓の一部(ホルマリン固定パラフィン包埋切片)

情報：術後の経過、検査結果（静岡がんセンター症例の画像）

3. 試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法

本研究では、患者さんから採取された試料を院外に持ち出すことはありません。福井県済生会病院および静岡がんセンターの症例は、各施設内で観察を行います。研究代表者が静岡がんセンターにて症例を院内で確認することがあります。また、診療情報は、当院で個人が特定できないように匿名化を行います。提供された情報は、解析のため、金沢大学へ提供されます。研究成果は、学会で発表され、また学術誌に発表されます。

4. 利用又は提供を開始する予定日

利用又は提供開始予定日：西暦 2025 年 10 月 1 日から

【共同研究機関及び研究責任者】

1. 研究代表施設および研究統括者

福井県済生会病院病理診断科 顧問部長 中沼安二

2. 共同研究施設等およびその研究代表者

静岡がんセンター病理診断科 角田優子

金沢大学医学系研究科 人体病理学 原田憲一

順天堂大学医学部 人体病理学 福村由紀

福井大学医学系部門腫瘍病理学 福島 万奈

【当院における研究責任者】

静岡がんセンター病理診断科 角田優子

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒411-8777

静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地 静岡がんセンター 病理診断科 角田優子

電話：055-989-5222（代表）